下地がなくても安心安全
取付け簡単の「Fitrack」

Fitrack(フィットラック)取り付けの下地について

Fitrack(フィットラック)は、下地のない場所でも、付属の石膏ボード用アンカー(トグラー)を使用すれば、商品全体にかかる荷重が50kgまでは安心してお使いいただけます。
より安心してお使いいただくためには、新築・リフォームの場合は事前に下地を入れていただくか、下地が入れれない場合は、レールを間柱に固定していただくことで、商品全体(壁一面)にかかる荷重が150kgまで安心してお使いいただけます。

※各パーツの耐荷重は異なります。(3kg～35kg)
※乾式くん専用台は必ず下地、もしくは間柱固定が必要です。

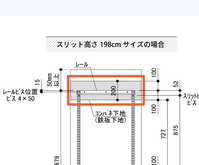
下地を入れる場合は、下記の【新築・リフォームで下地補強が可能な場合】【下地を入れることができない場合の補強方法】をご参照ください。

新築・リフォームで下地補強が可能な場合

下地を入れる場合は、背面壁全面コンパネt=9.5mm以上(12mm推奨)の下地補強を推奨します。

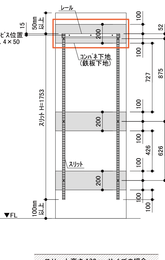
現場の状況により、全面コンパネが難しい場合は、部分的な補強も可能です。

部分補強の場合は、下図のレール取付部(■/必須)と、スリットビス位置周辺(■/推奨)の下地補強をお願いします。
扉上部に補強があり、スリットビス位置周辺(■/推奨)の中間及び下部に下地がない場合は、下地がない箇所にボードアンカー等を使用し、固定することでも、耐荷重150kgを実現することが可能です。

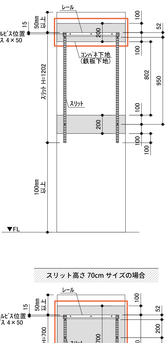


部分的に下地を入れる場合は、下図を参考に下地位置・範囲を決めてください。図中の□グレー部分が推奨する下地範囲になります。
図中□部分は、必ず下地を入れてください。

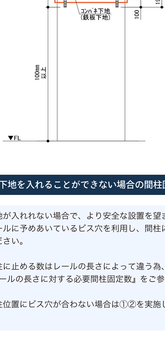
スリット高さ 198cm サイズの場合



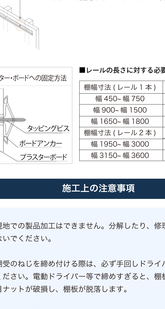
スリット高さ 175cm サイズの場合



スリット高さ 120cm サイズの場合



スリット高さ 70cm サイズの場合

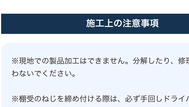


下地を入れることができない場合の間柱固定方法

下地が入れれない場合で、より安全な設置を望まれる方は、レールに予めあいているビス穴を利用し、間柱に固定してください。

間柱に止める数はレールの長さによって違う為、下記の「レールの長さに対する必要間柱固定数」をご参照ください。

間柱位置にビス穴が合わない場合は①②を実施してください。



■レールの長さに対する必要間柱固定数 (mm)

棚幅寸法(レール1本)	間柱固定数
幅450～幅750	2
幅900～幅1500	3
幅1650～幅1800	3
棚幅寸法(レール2本)	
幅1950～幅3000	6(3/本)
幅3150～幅3600	6(3/本)

施工上の注意事項

※現地での製品加工はできません。分解したり、修理・改造は行わないでください。

※棚受のねじを締め付ける際は、必ず手回しドライバーを使用してください。電動ドライバー等で締めすぎると、棚板及び棚板の鬼目ナットが破損し、棚板が脱落します。

※耐火建築の場合は、レール及びスリットの取付は同梱のM4×50mm ねじではなく、M4×90mm ねじをご用意ください。